

第2回 地域で支えあうまちづくり懇談会 グループワーク 一覧(H30.7.19 菩提寺まちづくりセンター)

課題	今していること	支持グループ数	難易度	出てきた意見等	こういふのがあればいいな	支持グループ数	難易度	出てきた意見等
つながり	・サロン活動	2	易	人が集まらない。スタッフの高齢化。参加者の拡大若い方が参加しにくい。同じ菩提寺の中でも、参加の人数に差がある	・サロンの周知・広報	2	難	参加者の移動手段。メンバーの固定化!?
	・ひとり暮らしの人の話し相手	2	易	必要だけど実現は難しい	・自治会の活性化		普	若い人のなり手を増やすと、問題解決となる
	・独居高齢者の訪問・声かけ		易	民生委員が中心に行っているが、さりげない声かけをと心がけている。民生委員だけでなく、組織的に考えることが重要。	・自治会のなり手の育成		普	受け入れてくれるか。民生委員のなり手がない
	・グランドゴルフ		易	場所がない	・独居老人への支援		難	独居高齢者の名簿の入手方法。住民情報の共有化(制限付き)民生委員は名簿を持っていても、一般に周知できない。
生活支援	・往診	2	普 普 易	利用している人は利用しているが・・・	・いつでもふらっと行ける場所(歩いていけるところ)	2	難 難	高年齢者が免許証を返納すると外出しづらくなる 仕組みさえ作れば、できると思う
	・宅配サービス				・移動手段			様々な支援が多岐にわたる、必要度の順位を決め進めていかなければならない。民間のサービスの利用、通院や買い物に出かけられるサービスがあればよい。福祉有償運送サービスの確立 高年齢者サービスの一覧:詳しい内容の書かれたもの
健康づくり	・ラジオ体操		易 易	ラジオ体操の音がうるさい。子供たちが帰る時、車などが危ない。夏休みに5回ほど実施。毎日できると健康に良いのに。自治会単位で開催しているところが多く、自治会が違くと入れてもらえない	・ウォーキング		普 易 易	引き続き、健康づくりのサークル活動を続けることは、介護予防につながられる。誰もが参加しやすく工夫していく。継続には意味がある。
	・グランドゴルフ				・健康づくりサークルが活発になればよい			
災害時	・避難訓練	2	普 難	区長会ですでに自治会間の連携について話し合いが進んでいる	・健康器具の再利用	2	易・普 難 難	私の家は大丈夫か。実際警告があっても危機感がない。分からない。近所同士が助け合う必要性は高いが、個人情報の壁が高い
	・世帯台帳の作成				・自治会単位の防災部の連携			
認知症	・見守りカメラ		易 普 普 易	勉強会・訓練の必要性。継続性はともに高い。予防のシステム作り 地域ごとでの介護者の集いだと、逆に話しにくさが出てしまわないか。自然体の中で、集える場所があって、そこへ行く方が良い。	・個人情報の公開		難	家族からの情報公開、せめて自治会長や民生委員には伝える。
	・徘徊時の連絡組織作成				・若者のひきこもり支援			
障がい者 ひきこもり	・見守り訪問		普		・ひきこもり家庭のアウトリーチ		難 難 難	どこに住んでいるのか分からない
	・奏との連携・相談				・居場所づくり			
子ども	・通学時の見守り		易		・子どもの見守りネットワークの一元化	2	易・難	情報が無い。 いろいろな団体がバラバラに見守りをしていて、統一していない。 挨拶が基本。
	外国人							